

市制施行60周年記念 マンホールデザインコンテスト 結果発表

令和8年に迎える市制施行60周年を記念して、マンホールデザインコンテストを実施。令和6年10月4日～12月4日の応募期間中に175の力作が集まりました。たくさんのご応募ありがとうございます。上位3作品について、計3日間の人気投票による最終審査の結果、次の通りとなりました。



最優秀賞

すえまつ りおな
末松 梨央奈 さん

てんにょんとご縁の
ある高石市

129票

作者コメント

松には「永遠の若さ」という意味があるので、「活気が続いてゆくように」という願いを、リボンのように円状になっているてんにょんをイメージした天衣には「縁のある高石市」という意味をこめました。てんにょんの周りには高石市のシンボルの菊をそえています。

優秀賞



あまの はるか
天野 陽風 さん

高石のあしあと

120票

作者コメント (抜粋)

高石市が誇る歴史的背景、資産などを伝えたいと考え、伽羅橋や高師浜の海などを表現しました。

優良賞



きりばやし さや
桐 林 沙弥 さん

高石市60周年!

80票

作者コメント

高石市のいつまでも廃れず美しい工場夜景をマンホールに描きました

担当課講評

コンテストを準備する過程では、「どのような応募作品が届くのか」、市のプロモーションを担当している地域創生課にとっては、とても気になる部分であり、作品が届くたびに周りの職員も巻き込んで「おおー!」と唸る、楽しい毎日が続きました。改めて、皆さんからのたくさんのご応募に感謝いたします。

応募作品は、皆さんが想う高石のイメージがギュッと込められたものばかりで、工場夜景をはじめ、天女、てんにょん、松、高石神

社、カステラ等、街の見どころが数多く投影されており、嬉しい気持ちにさせていただきました。

最終審査を実施する中でよく耳にした声は「このてんにょん、めっちゃ可愛い〜!!」。末松さんの作品が最優秀賞に輝いた決め手は、デビュー14年目を迎える愛らしいてんにょんで間違いなさそうです。見る人の気持ちをほっこり暖かくさせてくれる、そんなてんにょんのマンホールが街なかに登場する日が、今から待ち遠しいですね。

最優秀賞は、マンホール制作に関する令和8年度予算が承認された場合、実際に高石市内のマンホールとして登場する予定です。入賞3作品に込められた想いの全文はホームページで公開中!▶

